

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

「クラシエ」漢方乙字湯エキス顆粒

(オツジトウ)

特 徴

- 「乙字湯」は、江戸時代に著名な医学者の^{ハラナシヨウ}原南陽が「ぢ疾」専門の漢方処方として創製し、その後、処方内容を改良して今日まで広く使用されている薬方です。いぼ痔、きれ痔、便秘に効果があります。
- 穏やかな排便作用により、便通を整えます。
- 血液循環をよくして患部のうっ血をとり、痔核、きれ痔などの疼痛や、出血を止める効果があります。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人^はは服用しないでください
生後3ヵ月未満の乳児
2. 本剤^を服用している間は、次の医薬品^を服用しないでください
他の瀉下薬（下剤）
3. 授乳中^{の人}は本剤^を服用しないか、本剤^を服用する場合は授乳^を避けてください



相談すること

1. 次^{の人}は服用前に医師又は薬剤師に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
(3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人
(5) 高齢者
(6) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
(7) 次の症状のある人
むくみ
(8) 次の診断を受けた人
高血圧、心臓病、腎臓病
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください
(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）等があらわれる。
間質性肺炎	せきを伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。
偽アルドステロン症	尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。

- (2) 1ヵ月位（きれ痔、便秘に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくならない場合

3. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください
4. 次の症状があらわれることがありますので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください
下痢

効 能

大便秘がたくて便秘傾向のあるものの次の諸症：痔核（いぼ痔）、きれ痔、便秘



痔核（いぼ痔）



きれ痔

用法・用量

次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15才以上）	1包	3回
15才未満7才以上	2／3包	
7才未満4才以上	1／2包	
4才未満2才以上	1／3包	
2才未満	1／4包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。

成 分

成人1日の服用量3包（1包1.2g）中、次の成分を含んでいます。

乙字湯エキス粉末M2,100mg
〔トウキ3.0g、サイコ2.5g、オウゴン1.5g、カンゾウ1.0g、
ショウマ0.75g、ダイオウ0.5gより抽出。〕

添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、乳糖、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコールを含有する。

〈成分に関連する注意〉

本剤は天然物（生薬）のエキスをを用いていますので、顆粒の色が多少異なることがあります。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4) 使用期限のすぎた商品は服用しないでください。
- (5) 1包を分割した残りを服用する時は、袋の口を折り返して保管し、2日をすぎた場合には服用しないでください。



健康アドバイス

●便通を整えましょう



痔の予防のためには便通を整えることが大切です。偏食をさけ特に食物繊維を含んだ野菜、芋類、豆類、海藻類をとるように心がけましょう。

●保温と清潔を



毎日入浴して、おしりを清潔にしましょう。入浴は清潔にするだけでなく、おしりを温め血行をよくする効果もあります。

●排便習慣を身につけましょう



毎朝きちんとした排便習慣を身につけ、便秘と下痢をさけるようにすることが大切です。排便をするとき、あまりいきまないようにしましょう。

副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎ 0120-149-931

本剤について、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

クラシエ薬品株式会社 お客様相談窓口 ☎ (03) 5446-3334
受付時間 10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

ホームページ www.kracie.co.jp

発 売 元

クラシエ薬品株式会社

東京都港区海岸3-20-20（〒108-8080）

製造販売元

クラシエ製薬株式会社

東京都港区海岸3-20-20（〒108-8080）